

# 論文審査の結果の要旨

|  |               |       |       |
|--|---------------|-------|-------|
| 報告番号   | 博(医歯薬)甲第 85 号 | 氏名    | 鵜瀬 匡祐 |
| 学位審査委員   | 主査            | 矢野 捷介 |       |
|  | 副査            | 相川 忠臣 |       |
|  | 副査            | 江石 清行 |       |
| 論文審査の結果の要旨   |               |       |       |
| <p>1. 研究目的の評価<br/>本研究は、フォスホジエステラーゼⅢ阻害薬であるミルリノンの虚血再灌流に伴う心筋スタニングに対する保護作用を実験的に明らかにしようとするもので目的は十分妥当である。</p>  |               |       |       |
| <p>2. 研究手法に関する評価<br/>ブタ左冠動脈前下行枝の短時間血流遮断および再灌流による心筋スタニングモデルを作成し、異なる用量のミルリノンを虚血前または再灌流直後に投与し、局所心筋短縮率(%SS)の変化を測定するものであり、研究方法も妥当である。</p>                                     |               |       |       |
| <p>3. 解析・考察の評価<br/>上記方法で解析した結果、ミルリノンが虚血再灌流に伴う心筋スタニングに対して保護効果を有し、その効果がミルリノンの血行動態に対する影響ではなく、心筋に対する直接的な保護作用によるものであることが明らかになった。本研究の成果により虚血再灌流における心臓保護に関する研究の進展が大いに期待される。</p> |               |       |       |
| <p>以上のように、本論文は、虚血再灌流時の心保護に関する研究の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>   |               |       |       |